特集 2　知りたい！安曇野の財政

令和7年度　主な事業の成果を紹介します

令和7年度に取り組んだ新たな事業や内容を充実した事業を紹介します。
決算書や詳細は市HP（ホームページ）からご覧いただけます。　問財政課　TEL71-2005

1. こどもの医療費18歳まで無料化

決算額
3億8463万円※



子育て世帯の経済的負担を減らし、安心して医療機関などの受診ができるよう、0歳から18歳までの医療機関窓口負担の無料化を行いました。

※無料化分を含む給付全体実績額

2. 旧豊科近代美術館が安曇野市美術館にリニューアルオープン

市債を活用

決算額
4億3230万円



令和7年7月に旧豊科近代美術館の改修工事が完了し、名称を「安曇野市美術館」に変更してリニューアルオープンしました。展示室内は照明をLED化し、段差を解消するなどより鑑賞しやすい空間になったほか、常設展示に安曇野ゆかりの作品を拡充しました。

3. 安曇野ナンバーの交付が開始

決算額
886万円



令和4年度から生坂村・池田町・松川村と共に検討や手続きを進めてきた安曇野ナンバーの交付を、令和7年5月に開始しました。周知のため、交付記念イベントの開催や市公用車に図柄入りプレートを導入しました。



4. 同報系防災行政無線のシステム更新

市債を活用

決算額
1億540万円



緊急時などに素早く情報を伝える同報系防災行政無線の放送卓更新工事を行いました。放送を職員の肉声から合成音声に変更したことで、常に同じ音質の放送が可能になりました。また、屋外スピーカーの放送、メール、市公式LINEなどへの配信が1つの操作画面で一元管理でき、災害時の緊急情報をより迅速に発信できるようになりました。

5. 黒沢洞合自然公園の整備

市債を活用

決算額
1億9547万円



令和7年4月から行っていた拡張整備工事が完了し、黒沢洞合自然公園が新しく生まれ変わりました。拡張エリアには、手すり付きのバイオトイレを新設したほか、生き物が自然な状態で生息できるビオトープが整備され、さまざまな生物を観察できます。

6. 海外で安曇野の農産物をPR

決算額
1221万円



シンガポールで開催されたThe Japan Rail Fair 2025へ出展し、安曇野の農産物をPRしました。また、現地のインフルエンサーや事業者を安曇野市に招き、わさびの収穫体験や水アクティビティ、農泊など、農業と観光を組み合わせたモニターツアーを行い、SNSなどで発信しました。

7. 本陣・等々力家の再生活用

地方創生に関する国交付金を活用

決算額
2508万円



歴史的、文化的に重要な古民家「本陣・等々力家」をリ・デザインして、複合観光施設を整備しています。令和11年度中のオープンを予定し、令和7年度は基本設計と不要建物の解体を進めました。地域の文化財に新たな価値や役割を付けて保存活用し、後世に引き継いでいきます。

8. 東部アウトドア拠点の整備

市債を活用

決算額
6569万円



※完成イメージ

明科地域の活性化に向けた、前川周辺のアウトドア拠点整備では、拠点や公園の基本設計、カヌーコースの実施設計、龍門渕公園内の橋梁（きょうりょう）設計などを行いました。また、アウトドア拠点を見据えたイベントや講座などを開催し、地域の連携体制作りを進めました。令和8年度以降、整備工事に着手していきます。